

(兼題)

「祈る」

岡 あきら 選

佳句

孫受驗石地藏にも手を合わす
御降嫁の子宝祈る大社

利彦

令和の代平和が続くよう祈る

寿美

星まつり祈りたくさんぶら下げる

歌子

君眠る海 祈りのブーケ捧げゆく

玲峰

人

祈ってる世界平和もダービーも

西坂 瑞人

地

大夕陽今日も一日無事でした

吉川らんまん

天

皆平和祈っていてもする戦

竹治ちかし

軸吟

願い事無くて平和を祈ってる

岡 あきら

(兼題)

「その後」

伊藤 玲峰 選

佳句

その後のことは今夜寝ながら考える

たえこ

満開のどんな花にもあるその後

桂子

わたくしのその後はそっとそのまんま

桂子

大まぬけその後天下の覇者となる

瑞人

十字路で風のその後を見極める

寿美

人

群を出た象のその後は分らない

小豆沢歌子

地

飲み過ぎの飛んだ記憶が呼ぶ不安

大福 利彦

天

日本史のその後を変えたキノコ雲

竹治ちかし

軸吟

肩書きも消えてゆったり土いじり

伊藤 玲峰

(兼題)

「友情」

吉川らんまん 選

佳句

友情の鎖を囁るネズミ講

利彦

今も尚固い友情解けない

歌子

五十年友情醸し恋になる

玲峰

叱咤激励してくれる友 糧にする

あけ美

ロマスにも負けぬ心の友が居る

ちかし

人

友情は金では買えぬ宝です

多久和敬子

地

ライバルが友情になるコップ酒

今岡 健柳

天

喧嘩した昔もあった君と僕

西坂 瑞人

軸吟

友情の印 四つ葉のクローバー

吉川らんまん

(席題)

「海」

竹治ちかし 選

人

海はそこ余生ゆったり流れよう

伊藤 玲峰

地

目刺し食う海の話が面白い

岡 あきら

天

海の夕陽 神は素敵なアーチスト

伊藤 玲峰

軸吟

古里の海に貰った夢数多

竹治ちかし